

8日 火曜

創世記



44:18 すると、ユダが彼に近づいて言った。「ご主人様。どうか、しもべが申し上げることに、耳をお貸しください。どうか、しもべを激しくお怒りにならないでください。あなた様はファラオのようなお方です。

44:19 あなた様は、以前しもべどもに、おまえたちに父や弟がいるかとお尋ねになりました。

44:20 それで私たちは、『私たちには、年寄いた父と、年寄り子の末の弟がおります。彼の兄は死に、その母の子としては彼だけが残されましたので、父は彼を愛しています』と申し上げました。

44:21 するとあなた様は、『彼を私のところに連れて来い。私はこの目で彼を見たい』とおっしゃいました。

44:22 そのとき私たちは、『その子は父親と離れることはできません。離れたら父親は死ぬでしょう』とあなた様に申し上げました。

44:23 しかし、あなた様が、『末の弟が一緒に下って来なければ、二度と私の顔を見てはならない』とおっしゃったので、

44:24 私たちは、あなた様のしもべである私の父のもとへ帰ったとき、父にあなた様のおこぼを伝えました。

44:25 そして父が、『また行って、われわれのために少し食糧を買って来てくれ』と言ったので、

44:26 私たちは、『下って行くことはできません。もし末の弟が私たちと一緒に下って行きます。というのは、末の弟と一緒になければ、あの方のお顔を見ることはできないからです』と答えました。

44:27 すると、あなた様のしもべ、私の父がこう申しました。『おまえたちもよく知っているように、私の妻は二人の子を産んだ。

44:28 一人は私のところから出て行ったきりで、きつと獣にかみ裂かれてしまったのだ、と私は言った。今に至るまで、私は彼を見ていない。

44:29 おまえたちがこの子まで私から奪って、この子にわざわざ降りかかるなら、おまえたちは白髪頭の私を、苦しみながらよみに下らせることになる。』

44:30 私が今、あなた様のしもべである私の父のもとへ帰ったとき、あの子が私たちと一緒にいなかったら、父のいのちはあの子のいのちに結ばれていますから、

44:31 あの子がいないのを見たら、父は死んでしまうでしょう。しもべどもは、あなた様のしもべである白髪頭の父を、苦しみながらよみに下らせることになります。

44:32 というのは、このしもべは父に、『もしも、あの子をお父さんのもとに連れ帰らなかったなら、私は一生あなたの前に罪ある者となります』と言って、あの子の保証人となっているからです。

44:33 ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなた様の奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと一緒に帰らせてください。

44:34 あの子と一緒になくて、どうして私は父のところへ帰れるでしょう。父に起こるわざわざを見たくありません。』

ヨセフが入れさせた杯がベニヤミンの袋から見つかり、ベニヤミンが奴隷とならなくてはいけなくなりました。ユダは彼を必死に守ろうとしてヨ

セフに嘆願します。彼の心は父と弟を思う愛情で溢れています。

かつてのユダはそうではなく、父に特別に愛されている弟ヨセフを妬んでいましたし、またヨセフを売ったことで父を悲しみのどん底に突き落とすような者だったのです。苦難とヨセフの言動が彼を変えたのですが、その背後には神様が導いておられました。

ユダは弟ベニヤミンが自分よりも父に愛されていたことを感じていたはずですが、妬むことをせずに守ろうとしました。自己中心が消えたのです。また自分をが奴隷になろうとしています。犠牲の愛です。

これらは父を愛する思いから来るものです。このように神を愛する者は、どんな困難をも乗り越えて兄弟姉妹を愛するようになります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

